

平成 30 年度全柔連公認柔道指導者 B 指導員養成講習会要項

- 1 主 催 公益財団法人全日本柔道連盟
- 2 主 管 神奈川県柔道連盟
- 3 目 的 柔道の安全指導の徹底、指導者の資質および指導力の向上、柔道全体の社会的信用と地位の確立のために公認柔道指導者の養成を図る。
- 4 実施内容 講習 集合 18 時間（3 日間）
検定試験 講習会終了後 1 時間
課題レポート 後日 6 時間の課題レポート提出（1 ヶ月程度の作成期間）
※検定試験及びレポート課題の合格が認定された時点で資格が発効する。
（受講年度と認定年度が同じ）
※3 日間全てを受講できない場合は複数年での受講も可能
（詳細は県柔連指導者養成委員会担当者に問い合わせを）
- 5 期日会場 1 日目 平成 30 年 11 月 4 日（日）9:00～17:00
横浜国立大学
2 日目 平成 30 年 11 月 11 日（日）9:00～16:00
横浜市立保土ヶ谷中学校
3 日目 平成 30 年 11 月 18 日（日）9:00～17:00
横浜国立大学
- 6 受講条件 受講対象者は、全日本柔道連盟の「会員登録」ならびに「指導者資格登録」をしている者で、次の条件をすべて満たしている者とする。
・20 歳以上、3 段以上、C 指導員認定後 2 年以上経過している者
・2018 年全柔連登録時に 2 段で、その後、3 段に昇段した場合は、全柔連登録の段位を 3 段に修正登録してください。
- 7 募集人数 会場の都合で受講者は 50 名以内とする。
- 8 費 用 資格審査受験料 6,000 円（講習会受講費・資料代を含む）
申し込み受付後、指定口座へ振り込む（受付後、個々に連絡します）
- 9 申し込み (1) 申 込 先 五地区（川崎・横浜・湘南・横須賀・警察）の事務局
四団体（実柔連・学柔連・高体連・中体連）の事務局
(2) 締め切り 平成 30 年 9 月 28 日（金）
(3) 五各地区・四団体は、参加申し込みを取りまとめ、申込書に必要事項を記入し、メンバー ID の間違いや指導者資格取得者の記入漏れがないよう横浜市柔道協会事務局のアドレスに送信してください。
yokohama-judo@kej.biglobe.ne.jp
*個人で直接の申し込みは、しないようにしてください。
- 10 更新講習 1 日目、3 日目どちらかを受講すれば、A・B 指導者の更新講習 5 ポイント、2 日間受講すれば 10 ポイントとなります。

- 11 その他 本講習に合格することにより日本体育協会認定柔道指導員資格の専門科目を免除される。

講習会日程

(講師の都合で1日の中で講習順序が変わることもある)

1日目(教室) 【11月4日(日)】5科目(7時間)

開講式

- 1 I-1 柔道論Ⅱ(柔道の歴史)
 - 2 I-4(1) 柔道の科学Ⅱ(柔道指導に必要な生理学・栄養学的基礎)
 - 3 I-4(1) 柔道の科学Ⅱ(柔道指導に必要な生理学・栄養学的基礎)
- 昼食・休憩
- 4 I-3 指導者の倫理Ⅱ(柔道指導者としての振る舞い)
 - 5 I-2 安全管理・指導Ⅱ(柔道の安全管理・安全指導、事故予防策)
 - 6 I-2 安全管理・指導Ⅱ(柔道の安全管理・安全指導、事故予防策)
 - 7 I-4(2) 柔道の科学Ⅱ(柔道指導に必要な心理学・運動学的基礎)

2日目(柔道場) 【11月11日(日)】6科目(6時間)

- 1 II-1(1) 基本指導Ⅱ(基本指導)
 - 2 II-1(2) 基本指導Ⅱ(投げ技の指導体系)
 - 3 II-1(3) 基本指導Ⅱ(固め技の指導体系)
- 昼食・休憩
- 4 II-1(4) 基本指導Ⅱ(対人技能の指導体系)
 - 5 II-2 体力トレーニングⅡ(柔道の体力トレーニング)
 - 6 II-3 救急処置Ⅱ(柔道場での救急処置の実際)

3日目(教室) 【11月18日(日)】5科目(5時間)+検定試験(1時間)

- 1 I-5 マネジメントⅡ(チームマネジメント、合宿・大会運営)
 - 2 II-4 審判規定と審判法Ⅰ(審判規定と審判法の概要)
 - 3 III-1(1) 指導計画Ⅰ(指導計画立案の概要)
- 昼食・休憩
- 4 III-1(2) 指導計画Ⅰ(指導計画の実施と評価の概要)
 - 5 III-2 対象に応じた指導法Ⅰ(ジュニア期とシニア期の柔道指導の基本)
 - 6 試験準備(自習)
 - 7 検定試験

閉講式

問い合わせ先

神奈川県柔道連盟
教育普及部指導者養成委員会
國吉 真登茂
TEL 080-5057-92444